地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	
氏名	窪　拓摩
着任日	令和3年2月1日

活動月	令和4年10月（着任1年9ヶ月）
主な活動	1. 52年ぶりの鹿児島開催！和牛共進会で知覧茶PR 2. 外部企業との連携、ブランディングづくりの商談 3. 地域を超えた情報交流への注力、その他

1. 52年ぶりの鹿児島開催！和牛共進会で知覧茶PR

写真：活気ある和牛共進会 霧島会場 / 南九州会場の様子

気がつけば、数年間混沌とした世界が続いていた市場でありましたが、対策を打ちつつ大規模な開催を決断された「和牛能力共進会」。開催に対しネガティブなご意見もありつつ、蓋をあければ非常に活気あるイベントとなり、地元鹿児島に全国から多くの方々がお越しになられる結果となりました。
企画・運営・実施などで動かれた関係各所の皆様には、厚く感謝申し上げたいところでございます。「何もしない」ということが、全て良い事とは限らないというのがはっきりと可視化できた取組だったのではないかと思います。

南九州市
Minamikyushu City

写真：ソトから見える当市の観光と茶業の魅力とは

当市からは、商工観光課/観光協会/茶業課(茶業振興会)でブールを計５日間の全日程で担当し、観光と知覧茶の魅力を存分にお伝えいたしました。
やはり、実際に試飲ができる環境下での知覧茶のポテンシャルは計り知れず、県内はもちろんのこと、県外からの観光客/和牛関係団体から良い反応とご購入をいただきました。
また、観光分野では、簡易型の釜蓋神社を体験いただき、頭に釜蓋を乗せて歩いていただき、待ちの行列ができるほど注目を集めており、開催の様子がTVニュースに放送されておりました。

知覧茶において、想定を超える販売状況にて仕入れ分が開催２日目でなくなり、急遽っ日頃よりお世話になっているJAいぶすき頴娃茶業センター、JA南さつま知覧茶業センターそして頴娃/知覧青年部の知覧茶を追加販売し、嬉しい悲鳴と共に広く知覧茶をPRできました。
長らくオンラインでのPR活動に注力しておりますが、対面で試飲をしていただき様々な反応から適切なご提案、ご説明ができる環境の楽しさを久々に感じた催事となりました。

２．外部企業との連携、ブランディングづくりの商談

９月度の報告書につづき、当月中旬川辺町にある森の学校(旧永谷小学校)にて『GOOD NEIGHBORS JAMBOREE 2022』が開催されました。
会場では、知覧茶のPRブランディングとして、下記を実施しました。
▸GOOD NEIGHBORS JAMBOREE 限定 KINTO社オリジナルCHIRAN TEAボトルの販売
▸知覧茶の専門家による、美味しいお茶の淹れ方を学べるワークショップの開催

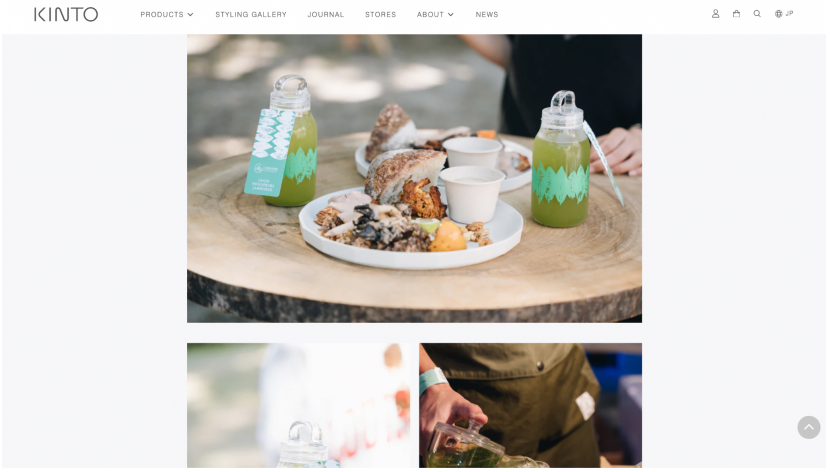
写真：**CHIRAN TEA**限定オリジナルボトル
https://www.instagram.com/p/Cj5P-I8Sxlo/

南九州市
Minamikyushu City

写真：ワークショップ「森のカフェ」会場風景

行政主体ではなかなかつくりだすことのできない、イベントの「特別な空間づくり」は、知覧茶のイメージをより洗練されたものにします。会場では、誰一人お茶に対し「古臭い」「年寄りの飲み物」「タダ同然の飲料」などとは捉えていませんでした。
当イベント参加者は、10代の高校生から50代の方々まで幅広い層であり、感度の高い県外からの方が多い印象です。
ワークショップでは、知覧茶をつくる生産者 / 知覧茶販売者 / 実力派お菓子製造店舗のコラボレーションにより、さらに特別な空間となりました。

また、開催後日CHIRANTEAを製作いただいたKINTO社公式HPより、オリジナルボトルの記事が公開され、参加できなかった全国各所の方々からSNSへの問い合わせが多く寄せられ、反響をよんでいます。



▼KINTOホームページ記事はこちらから

南九州市
Minamikyushu City

地域おこし協力隊活動報告書
https://kinto.co.jp/blogs/journal/good-neighbors-jamboree-japan

3. 地域を超えた情報交流への注力、その他

青森県今別町からの職員視察、情報交換

写真：地域おこし協力隊**OG**岩崎さんとチャイティーワークショップ

南九州市から遠く離れた青森県今別町より、市の職員２名が視察にこられ、現役地域おこし協力隊 / 協力隊OB・OGを中心に体験を交えた情報交換を実施いたしました。
今回は、地域おこし協力隊等の採用担当をしている方、R3年度より新しくできた「地域プロジェクトマネージャー」へ当市の現状抱えている課題、協力隊の活動内容、卒業後の動きなどをお話ししました。
加えて、市を超えてまであまり公にされない地域おこし協力隊と行政職員との関わり方や、任期満了までに生業をつくっていけるのか、採用基準など込み入ったお話しも、双方の実体験と課題に向けた取組事例と共に共有できた、非常に有意義な時間となりました。
今後も、他市町村との情報交換を盛んに実施できたらと感じております。

知覧小学校でのお茶ふれあい事業

写真：知覧小学校にて自由な発想で考えられた知覧茶

地元知覧小学校にて、お茶のふれあい事業を実施しました。お茶の効能から、現在知覧でつくられているお茶の品種など座学を学んだのち、単一品種を各班でブレンドし、最終的に好きな知覧茶をつくるマイブレンド体験が非常に好評で、素直な気持ちで授業に望んでいた生徒の反応がとても新鮮で、我々もこの気持ち/姿勢を忘れてななならないと感銘を受けた次第です。

以上簡単ではございますが、当月の報告といたします。

南九州市
Minamikyushu City